

大府公民館開館30周年記念
第30回大府公民館芸能祭



2月19日(日)、大府公民館で、日頃の練習
成果を発表する芸能祭が開催された。
毎年恒例の演目以外に、今回は、ヨガ体操、
空手演武、フラダンス、ウクレレ演奏が初めて
披露された。また、最後には抽選会があり、皆
様おみやげを片手に帰宅された。

ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
事務局
大府公民館



フラダンス



ヨガ体操



助けあう
家庭と地域を
創造しよう



大正琴



日本舞踊

施設訪問 文化福祉部会

11月18日(金)
は「ルミナス大府」、28日(月)には「愛厚ホーム大府苑」を訪問しました。

日頃より文化福祉部員は、この日のために、



詩舞、カラオケ、民踊と練習を重ねてきました。施設利用者が待ち受ける中、ステージでは富士山に月が描かれた背景を背に、熱演が続き、かわいい雪ダルマが登場すると、目を細め口を揃えて「雪やコンコ、アラレやコンコ……」と、隣の人の肩を叩き、顔を見合わせて、歌声が弾んでいました。いつの間にか、利用者が看護師さん達でホールはあふれんばかりでした。

両ホームと地域住民のつながりを深め、共にひとときを過ごし、楽しみふれあうことにより福祉について考える機会を持てました。

文化福祉部員は、「いつもありがとう」「感謝」「いつも笑顔で」と書かれた壁飾りを部屋に飾ってくださいと手渡し、「また来ますネ」と言葉交わしながら、両施設の訪問を終えました。

後日談ですが、山崎部長から「壁飾りが大変好評だったよ」とうれしそうな笑顔をいただきました。



緑花活動

環境部会

11月20日(日)、大府コミュニティ環境部会主催で、大府駅西へ図書館までの花壇の花の植え替えを行いました。当日は小学校、中学校の児童・生徒をはじめ大府市副市長、中学校長、小学校の先生方、コミュニティ委員等総勢60余名の参加を頂き、新しい花と植え替え、花壇が綺麗に生まれ変わりました。



青少年健全育成のつどい

家庭教育部会

11月26日(土)、家庭教育部会主催で、『青少年健全育成のつどい』が大府公民館で開催された。



第30回 大府夏まつり

日時 8月4日(土)・5日(日)



大府コミュニティ

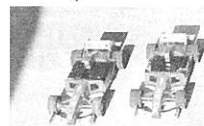
総会

日時 4月22日(日)
場所 大府公民館

ゴミゼロ運動

5月27日(日)

参加対象者は、大府小学校4・5・6年生の希望者40名で締め切られた。一部は「マシユマロの会」による腹話術で、抱腹絶倒。二部は『発明クラブ』の指導でプラモデルの「ソーラーF1」の組み立て。完成後はF1カーが大陽光を受けて元気に疾走していた。

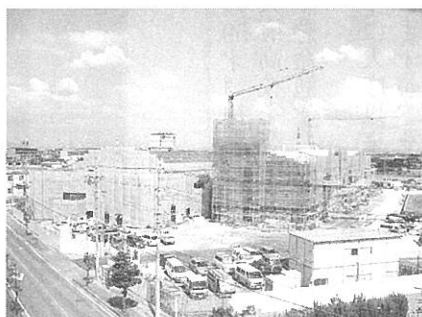




大東小学校



5/25 大型クレーン3機大活躍!



9/15 どんな学校になるのかな?



2/4 完成間近!!

大府小学校は、1,375人の児童数(平成24年1月)で、愛知県下の大規模校となったので、その解消にむけて、新設校を建設することになりました。児童数は各学年ともに約90人、全校児童は、約540人の予定です。また、各学年の学級数は、1年生から6年生まで各3学級の18学級と特別支援学級2学級でスタートする予定です。



中庭



校舎正面



太陽光パネル

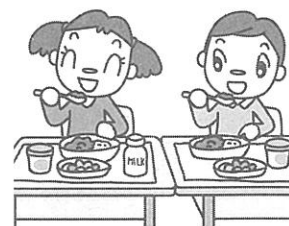
屋上緑化の花壇

建物の特徴

- ・ 屋上緑化の花壇
- ・ 太陽光パネル
- ・ 雨水貯留施設
- ・ バリアフリー化された校舎内



環境に配慮した校舎となっています。



◀バリアフリー化

あの人この人

大府公民館館長

加納 達也さん



今回は、我々がいつもお世話になっている大府公民館館長の加納達也さんをご紹介します。

プロフィール

昭和27年辰年生まれの59才。神田小学校、大府中学校、大府高校を卒業し、京都の大学で一生懸命勉学に励んでおりました。

市役所には、昭和50年に入庁以来今年度で37年勤務していますが、そのうち、18年と6ヶ月間施設勤務をさせていただいております。

子供の頃は、俗に言う腕白坊主でしたが野球が大好きで、中学・高校では勉強よりも部活に一生懸命な六年間でした。大学では、腰痛を患いマナージャーとして四年間後援会の方達とのお付き合いに明け暮れ、社会に出てからの事など多岐にわたり教えていただきました。その経験が今生かされているのではと思っています。現在では、身体のおちこちが痛いのと年齢のこともありスポーツ

は一切しておりません。

「大府公民館の印象」

市内の九つある公民館の中で唯一の三階建て公民館であり、市内の中心部に位置していることで、さぞかし運営等大変かなと少々緊張した面持ちで赴任しましたが、自治区長・コミュニティ会長をはじめとする役員さん方と接している内に次第に打ち解け、今では結構わがままを言わせていただいております。

「公民館のあるべき姿」

公民館は、社会教育施設と位置づけられており、地域の皆様方にどしどしご利用いただきたいのですが、利用に関してきびしい制約があり私が大府公民館長となつてからはご利用される団体の方々に時にはきびしいことばをおかけいたしておりますが、その辺をご理解いただき今後ともご利用いただければと思っています。

「公民館の役割」

地域に愛される公民館、これを念頭に運営していますが、特に自治区・コミュニティとの信頼関係に重きを置いていきます。また、近い将来必ず起きるだろうといわれています東海・東南海・南海地震等の災害における避難場所にもなっていますので、地域の方々が常日頃から「入りやすい公民館」を目指しています。

今後とも、公民館が憩いの場であると認識していただき、どしどしご来館いただきますようお願いいたします。

大府あれこれ

『ギョウジャヤマ』

大府小学校の南側大倉公園に隣接した一角に子供たちが「ギョウジャ山」と呼ぶ小高い杜がある。その径を行くと、役行者（えんのぎょうじゃ）を祀る祠（ほくら）がある。4月には祭礼も行われているそうである。



役行者（役小角＝えんのおづの）は、修験道の祖と言われ、弘法大師（空海）と同様に、各地で奇跡をおこし、多くの伝説が残っている。

孔雀明王の呪法を修得し鬼神を自由に操った役小角は、伊豆大島に流されたが、夜な夜な空を飛び、富士山に登って修行したと言われている。

修験道という点、白装束に金剛杖、ほら貝を持った山伏というイメージであるが、日本古来の山岳信仰（神道）や密教（仏教）と融合して独自の宗教として全国に多くの信者を持っている。小角の故郷の葛城山から生駒山、信貴山、熊野山中と広がって、やがて全国各地に広まった。

そんな「ギョウジャ山」を一度訪れてみるのはいかがでしょう？

（北自政 柴田）

編集部員募集!!

「ふれあい」の編集のお手伝いをしていただける方を募集しています。詳しくは「大府公民館」までご連絡ください。

あとがき



コミュニティの委員になってもうすぐ一年。私の任期も終わりに近づいてきた。今までは『ふれあい』を読む側だったが作る側になり、初めての経験をいっぱいさせてもらった。

我が家の事を言えば、この集まりの日はだいたい小学生の息子が一人で留守番をする事になる。「宿題をやった明日の用意をして、お風呂に入るんだよ。早めに寝なさいね。」と言い残し私は出掛ける。そして宿題もやってないだろうと思いつつながら帰宅すると、ちゃんと済ませ布団に入って寝てたりする。私がいなくてがっかりやっているみたい。親はなくても子は育つと言うが、親がいらない方が育つみたいだ。おかげさまで子供の成長を知る事もできた。

昨年には東日本大震災や紀伊半島豪雨があり、人のつながりの大切さをあらためて感じたが、このコミュニティのような活動がきつと大事なんだと思う。『絆』なんだと思う。来年度もまた違う委員を引き受ける事になった。子供の成長とともに楽しみながら参加していきたい。

（N・N）